

キャッシュレス決済に関する調査報告書

1. 初めに

- ・今回と次号の2回に亘り、調査研究委員会で調査を実施した「キャッシュレス決済に関する調査報告」について調査結果をご紹介致します。今回はその1回目となります。
- ・駐車場料金調査を柱として昭和58年から実施していた会員駐車場調査の内容を見直し、令和3年度から新しい会員駐車場調査に切り替えて実施しておりましたが、3年が経過したことから令和6年度は会員駐車場調査の実施を見送り、調査研究委員会において調査内容や調査の実施頻度について議論するとともに、新たな調査研究項目について議論を行いました。
- ・この結果、会員駐車場調査は令和8年度から隔年で実施(再開)すること、会員駐車場調査を行わない年は別の調査を実施することとし、令和7年度は「キャッシュレス決済に関する調査」を行うこととしました。
- ・今般、上記調査の結果がまとまりましたので、機関誌上で報告致します。

2. 調査内容と調査方法について

- ・「キャッシュレス決済に関する調査」では次の2つの調査を行いました。
 - ①駐車場利用者の意向(どの決済方法を良く使うか、それはなぜか、等)
 - ②キャッシュレス決済を導入している事業者の声(メリット、デメリット、等)
- ・①については効率よく利用者の声を集めるべく、インターネットを利用した市場調査会社に調査を委託し、調査結果を基に事務局で分析しました。
- ・②については、令和5年度の会員駐車場調査において「キャッシュレス決済を導入している」と回答した会員93社に対してアンケートをお願いし、①同様、事務局で分析しました。
- ・また、会員企業様より、東京都内のある商業集積地における時間貸し駐車場(3ヶ所)の精算データ(2025/3/1~8/31 ※1ヶ所のみ3/20~)のご提供を頂き、当該駐車場における決済状況を参考資料として掲載しております。特定の駐車場での実績とはなりますが、参考にして頂ければと存じます。

3. 駐車場利用者の意向調査結果

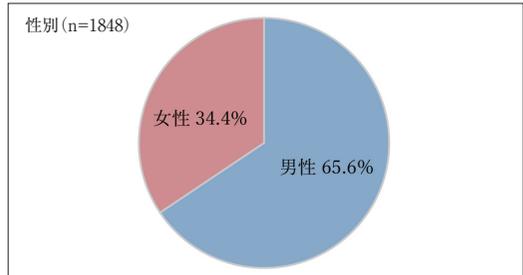
- ・駐車場利用者の意向調査については株式会社マクロミルに依頼し、同社が有するモニターから適切な条件でスクリーニングした1,848人に対して、駐車場利用時のキャッシュレス精算に関する質問に答えてもらいました。
- ・なお、モニターの選定に当たっては、年代(30代まで、40~50代、60~70代の3区分)と住所の地域(北海道、東北、関東、中部、関西、中四国、九州の7地域)のマトリックスにより21のセルに分けました。統計上、1セル当たりのモニター数は80以上が推奨されるとのことだったことから、1セルを88人として、88人×21セルで計1,848人のモニターサイズとしました。

(1) 回答者の属性

・回答者の属性については次の通りとなります。

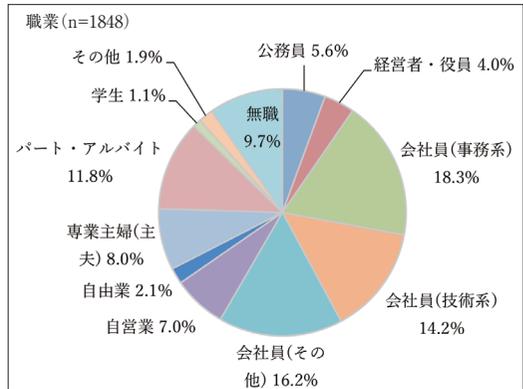
○性別

・性別についてはスクリーニング時の条件で均等な収集としなかった結果、男性が65.6%、女性が34.4%と、ほぼ2：1の割合となりました。



○職業

・職業分布は以下の通りですが、会社員がほぼ半数を占めています。



○住所

・住所の分布は次の通りとなります。地域ごとのサンプル数は同じ(264)ですが、地域内の都道府県の分布には偏りがあります。

北海道

北海道	264人	100.0%
-----	------	--------

東北

青森県	35人	13.3%
岩手県	24人	9.1%
宮城県	122人	46.2%
秋田県	26人	9.8%
山形県	14人	5.3%
福島県	43人	16.3%

関東

茨城県	13人	4.9%
栃木県	3人	1.1%
群馬県	4人	1.5%
埼玉県	51人	19.3%
千葉県	44人	16.7%
東京都	79人	29.9%
神奈川県	70人	26.5%

近畿

滋賀県	10人	3.8%
京都府	38人	14.4%
大阪府	115人	43.6%
兵庫県	80人	30.3%
奈良県	13人	4.9%
和歌山県	8人	3.0%

中部

新潟県	12人	4.5%
富山県	2人	0.8%
石川県	13人	4.9%
福井県	4人	1.5%
山梨県	9人	3.4%
長野県	22人	8.3%
岐阜県	14人	5.3%
静岡県	54人	20.5%
愛知県	118人	44.7%
三重県	16人	6.1%

中四国

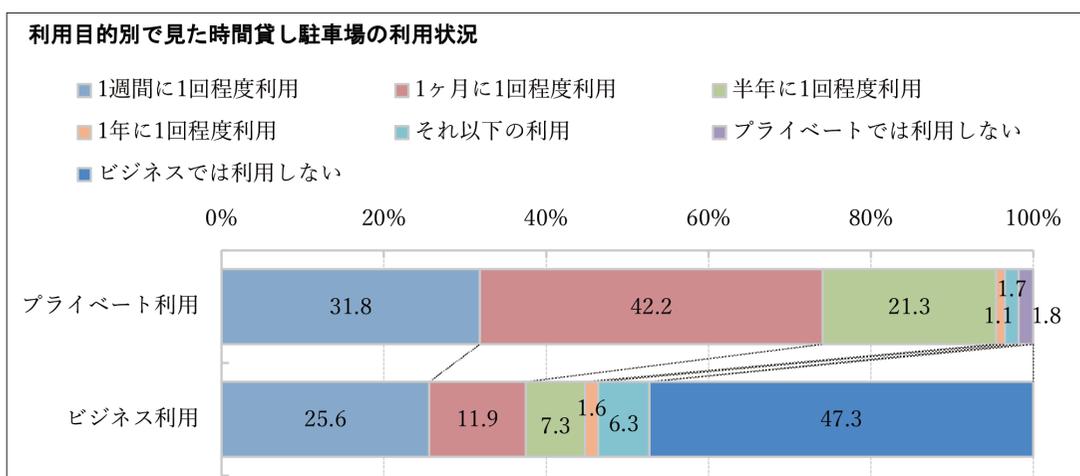
鳥取県	12人	4.5%
島根県	14人	5.3%
岡山県	41人	15.5%
広島県	97人	36.7%
山口県	17人	6.4%
徳島県	17人	6.4%
香川県	23人	8.7%
愛媛県	33人	12.5%
高知県	10人	3.8%

九州

福岡県	135人	51.1%
佐賀県	13人	4.9%
長崎県	27人	10.2%
熊本県	23人	8.7%
大分県	20人	7.6%
宮崎県	10人	3.8%
鹿児島県	24人	9.1%
沖縄県	12人	4.5%

○スクリーニングのための質問について

- ・今回のアンケートでは、ある程度の頻度で時間貸し駐車場を利用している方に答えてもらうべく、プライベート利用かビジネス利用のどちらかにおいて「半年に1回程度」以上時間貸し駐車場を利用している方のみ、アンケートに進めるようにしました。そのための質問に対する結果は以下の通りです。
- ・「プライベートでは利用しない」という方はほぼいない(1.8%)一方、「ビジネス利用はしない」という方は47.3%と半数近くいました。
- ・プライベート利用の場合、1ヶ月に1回程度利用の方が最多となりますが、ビジネス利用の場合は1週間に1回程度利用の方が最多となり、ビジネス目的で時間貸し駐車場を利用する方はより頻繁に利用していることが分かります。



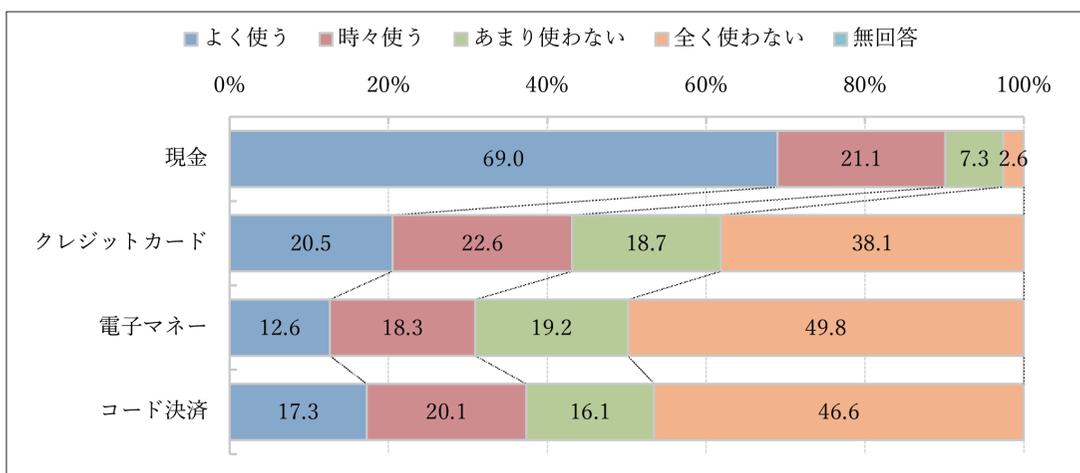
(2) アンケート結果

- ・スクリーニングを通過した1,848人のモニターには、次の質問に答えて頂きました。
- ※Q1～4とQ5～8は同じ質問で、前者はプライベート利用時、後者はビジネス利用時
- Q1：時間貸し駐車場を利用した時の決済方法(プライベート利用時)
- Q2：各決済方法について思い浮かぶ銘柄(プライベート利用時)
- Q3：「よく使う」「時々使う」と答えた決済方法を使う理由(プライベート利用時)
- Q4：「あまり使わない」「全く使わない」と答えた決済方法を使わない理由(プライベート利用時)
- Q5：時間貸し駐車場を利用した時の決済方法(プライベート利用時)
- Q6：各決済方法について思い浮かぶ銘柄(ビジネス利用時)
- Q7：「よく使う」「時々使う」と答えた決済方法を使う理由(ビジネス利用時)
- Q8：「あまり使わない」「全く使わない」と答えた決済方法を使わない理由(ビジネス利用時)
- Q9：時間貸し駐車場を選ぶ際に重視する点
- Q10：時間貸し駐車場の精算についての要望や不満点

- ・アンケート結果をごく簡単にまとめると「まだまだ現金決済が主流であるが、キャッシュレス決済も一定数を占めている。年代が若い層ほどキャッシュレス決済を使っていることを踏まえると、今後もキャッシュレス決済が伸びていくと思われる。但し、地域によって、その進捗度合いには差がある」ということが言えるのではないかと思います。
- ・各質問に対する結果は以下の通りです。なお、統計上推奨される1セル当たりのモニター数80以上を満たしていますが、サンプリング誤差がある点にはご注意ください。

Q1：時間貸し駐車場を利用した時の決済方法(プライベート利用時)

- ・「よく使う」「時々使う」を合わせると90.1%と現金が圧倒的に使われていることが分かります。現金以外では、クレジットカードが43.1%、コード決済が37.4%、電子マネーが30.9%という順となりますが、いずれも「時々使う」の方が「よく使う」よりも回答数が多く、現金の代替手段といった印象を受ける一方、使いたいのに使えない駐車場が少ないために、結果として「時々使う」が多くなる可能性もあると考えられます。なお、電子マネーでは49.8%、コード決済では46.6%と半数近くの回答者が「全く使わない」と答えており、精算機が決済方法として採用していない可能性もありますが、決済方法としてはクレジットカードに比べて劣位する印象です。
- ・プライベートで時間貸し駐車場を使う方(1,815人)のうち、クレジットカード、電子マネー、コード決済のいずれも「全く使わない」と答えた方は442名(24.4%)いらっしゃいました。
- ・グラフには掲載していませんが、「その他」という選択肢を選んだ回答者が30名ほどおり、「無料チケット」や「サービス券」を使うという回答が多くを占めました。



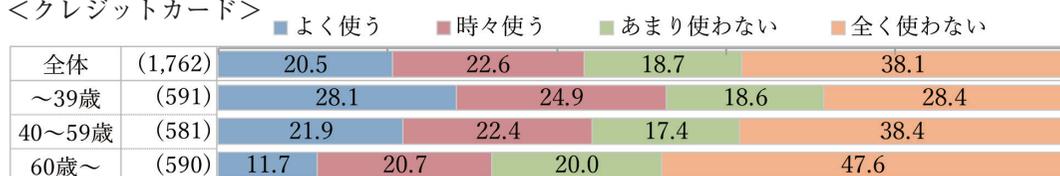
<年代ごとの利用状況>

- ・年代ごとの利用状況を決済方法別にグラフ化すると次のようになります。
- ・現金については60歳以上が他の年代に比べて高くなっており、逆にキャッシュレス精算については、いずれの決済方法も年代が低いほど利用する傾向が高くなっています。今後の世代交代を考えると、キャッシュレス化がより進むのは間違いないと思われます。

<現金>



<クレジットカード>



<電子マネー>



<コード決済>

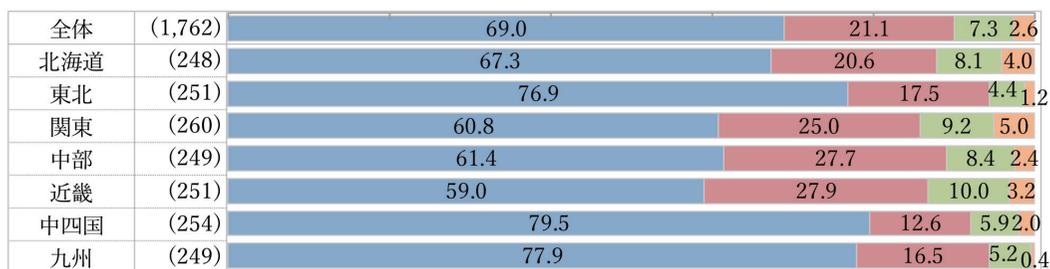


<地域ごとの利用状況>

- ・地域ごとの利用状況を決済方法別にグラフ化すると次のようになります。
- ・現金については東北、中四国、九州が他の地域に比べて高くなっています。クレジットカードについては、ちょうどその裏返しとなっていますが、電子マネーは関東が他の地域よりも高くなっており、SuicaやPASMOが普及しているためと考えられます。コード決済については関東が高いほか、現金の利用率が高かった中四国や九州でも比較的高く、キャッシュレス決済の中では独特な傾向となっています。

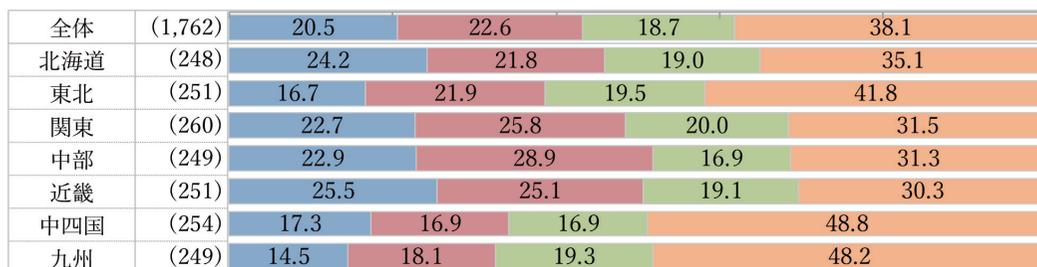
<現金>

■ よく使う ■ 時々使う ■ あまり使わない ■ 全く使わない



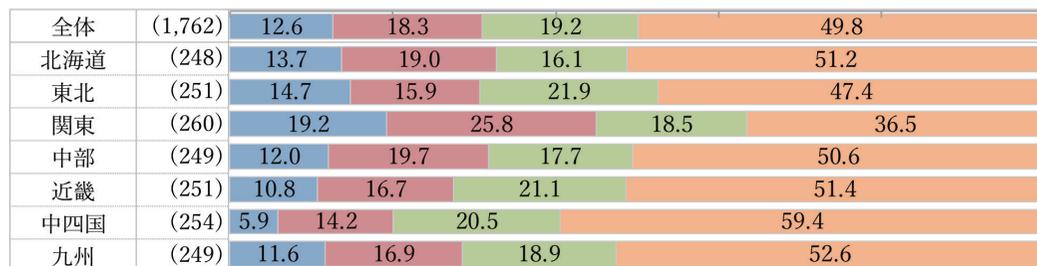
<クレジットカード>

■ よく使う ■ 時々使う ■ あまり使わない ■ 全く使わない



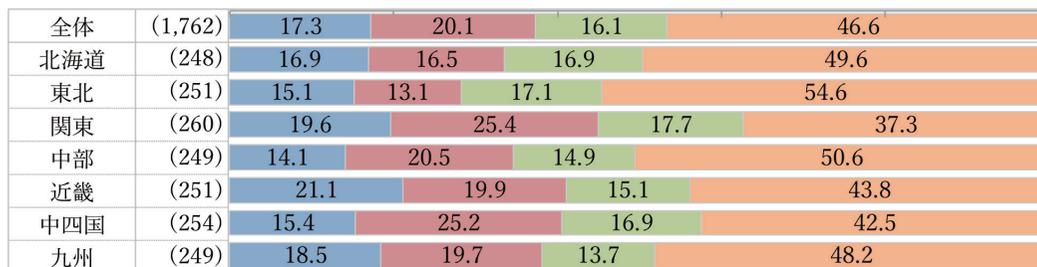
<電子マネー>

■ よく使う ■ 時々使う ■ あまり使わない ■ 全く使わない



<コード決済>

■ よく使う ■ 時々使う ■ あまり使わない ■ 全く使わない



Q2：各決済方法について思い浮かぶ銘柄(プライベート利用時) ※複数回答

- ・質問時に順位付けを求めていなかったことから、単純に回答数で順位を付け、5位までを以下に示します。なお、クレジットカードについては、国際ブランド(VISAやMastercardなど)を答えた方とカード自体の名称(三井住友カードや楽天カードなど)を答えた方がいらっしまったため、それぞれについて表を作成しました。

※「三井住友カードVISA」のように国際ブランドとカード名称の両方が書いてある場合、カード名称の方で計上しています。

<クレジットカード>

○国際ブランド

- ・国際ブランドとして強力なVISAが350件で1位となり、2位のJCBが203件、3位のMastercardが124件と続きます。

○カードの名称

- ・楽天カードが162件で断トツとなり、以下PayPayカードの58件、三井住友カードの43件と続きます。
- ・なお、6位以下はいずれも1桁の回答数でしたが、オリコカード、セゾンカード、JALカード、ANAカードなどがありました。

ブランド名	回答数
VISA	350
JCB	203
Mastercard	124
アメリカン・エクスプレス	43
ダイナース	3

ブランド名	回答数
楽天カード	162
PayPayカード	58
三井住友カード	43
イオンカード	30
dカード	28

<電子マネー>

- ・交通系のSuicaが251件で1位、商業系のWAONが183件で2位となり、3位の楽天Edy49件以下を大きく引き離しています。
- ・なお、6位以下には、PASMO、iD、manacaなどがありました。

ブランド名	回答数
Suica	251
WAON	183
楽天Edy	49
nanaco	40
ICOCA	35

<コード決済>

- ・1位のPayPayが484件と他を圧倒していて、2位には楽天ペイの203件、3位にはd払いの101件が続きます。
- ・なお、6位以下には、LINE Pay、ファミペイ、AEON Payなどがありました。

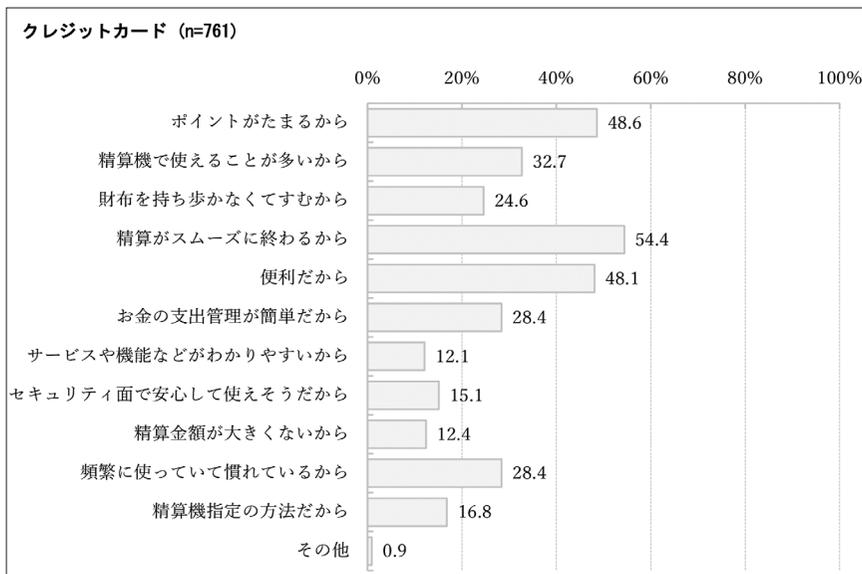
ブランド名	回答数
PayPay	484
楽天ペイ	203
d払い	101
au Pay	76
メルペイ	29

Q3:「よく使う」「時々使う」と答えた決済方法を使う理由(プライベート利用時)

※複数回答

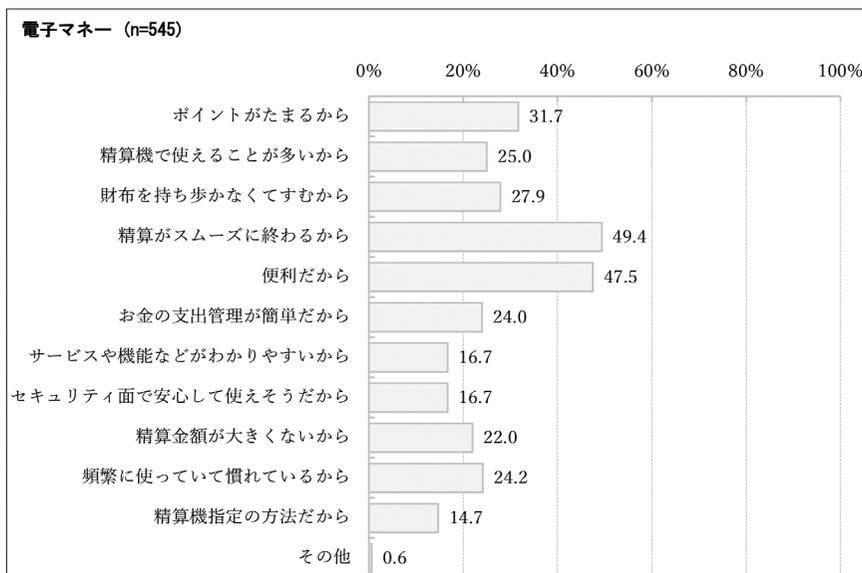
<クレジットカード>

- ・「精算がスムーズに終わるから」が54.4%と半数を超えて1位。続いて2位に「ポイントがたまるから」の48.6%が、3位に「便利だから」の48.1%が続きます。



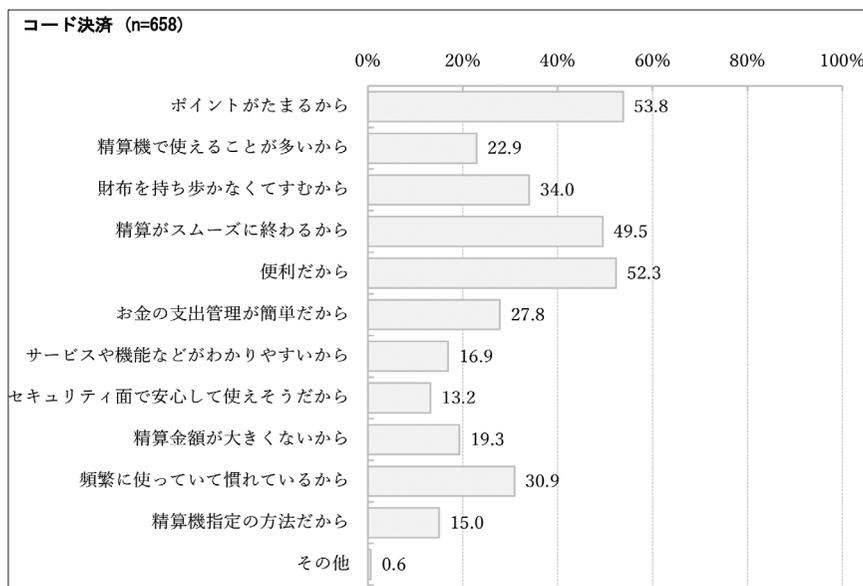
<電子マネー>

- ・「精算がスムーズに終わるから」が49.4%、「便利だから」が47.5%、「ポイントがたまるから」が31.7%と上位3者の顔触れは同じですが、1位と2位が3位を大きく離しています。なお、クレジットカードでは48.6%で2位だった「ポイントがたまるから」は31.7%にとどまっており、ポイントが付かない電子マネーが多いと推測されます。



<コード決済>

- ・コード決済も上位3社の顔触れはクレジットカードと同じですが、「ポイントがたまるから」が53.8%で1位となり、「便利だから」が52.3%で2位、「精算がスムーズに終わるから」が49.5%で3位と続きます。電子マネーとは逆にポイントが付くコード決済が多いと推測されます。



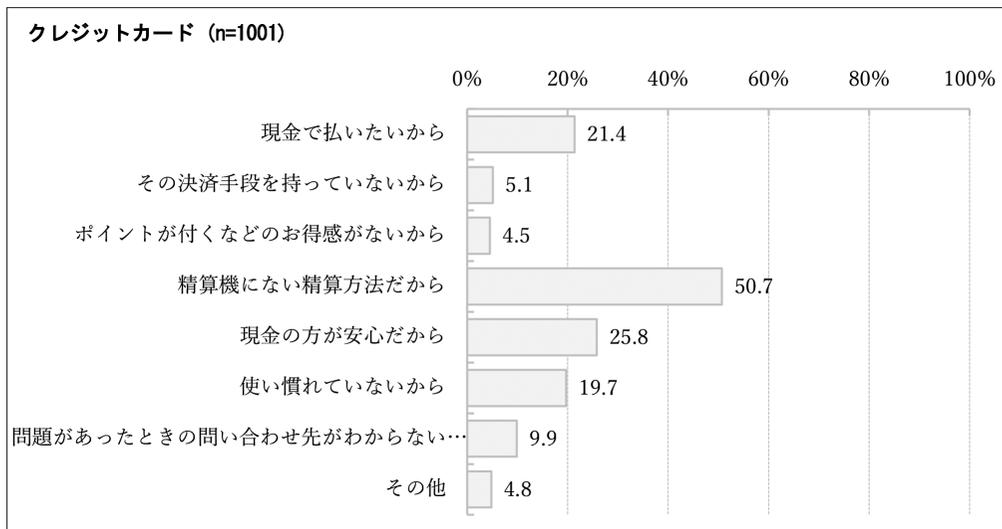
<3つの決済方法を比較して>

- ・それぞれの決済方法を使う理由を比較した場合、クレジットカードについては「精算機で使えることが多いから」が32.7%で4位に入っており、クレジットカード決済を採用している精算機が多いと推測されます。実際、クレジットカード決済を「よく使う」「時々使う」と答えたモニターは761人で、電子マネーの545人、コード決済の658人より多いです。なお、「精算機で使えることが多いから」の回答が22.9%で一番低かったコード決済が、実際の利用者では電子マネーよりも多かったのは、ポイントが付くために優先的に利用しているためと考えられます。
- ・どの決済方法でも「その他」を選んだ方は少ないですが、おもな回答は「小銭を出すのが面倒」「小銭がいや」など、小銭を使いたくないという内容でした。

Q4：「あまり使わない」「全く使わない」と答えた決済方法を使わない理由(プライベート利用時) ※複数回答

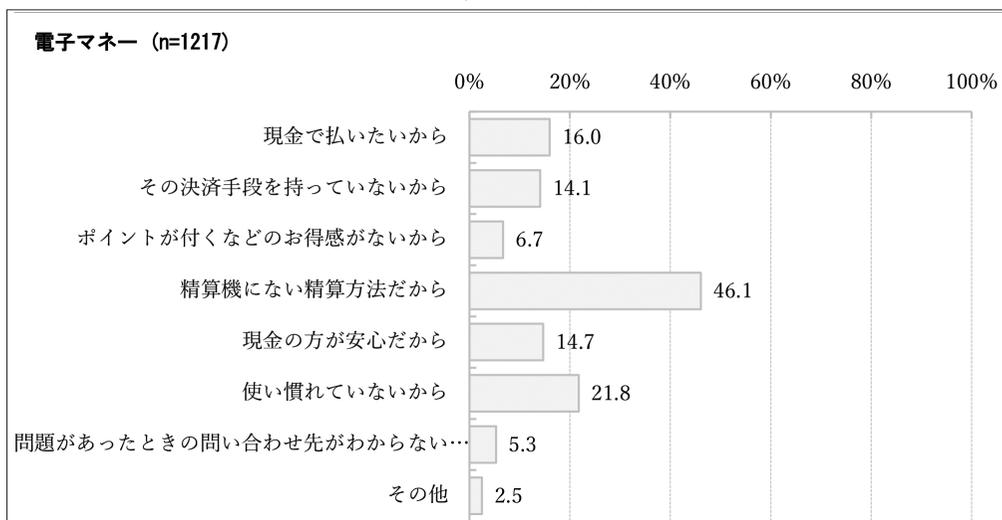
<クレジットカード>

・50.7%で断トツの「精算機にない精算方法だから」を除くと、「現金の方が安心だから」25.8%、「現金で払いたいから」21.4%、「使い慣れていないから」19.7%と続きますが、この回答からは、現金主義の強さがうかがえます。なお、「使い慣れていないから」という回答は、時間貸し駐車場におけるクレジットカード決済に慣れていないという意味に捉えるべきと考えられます。



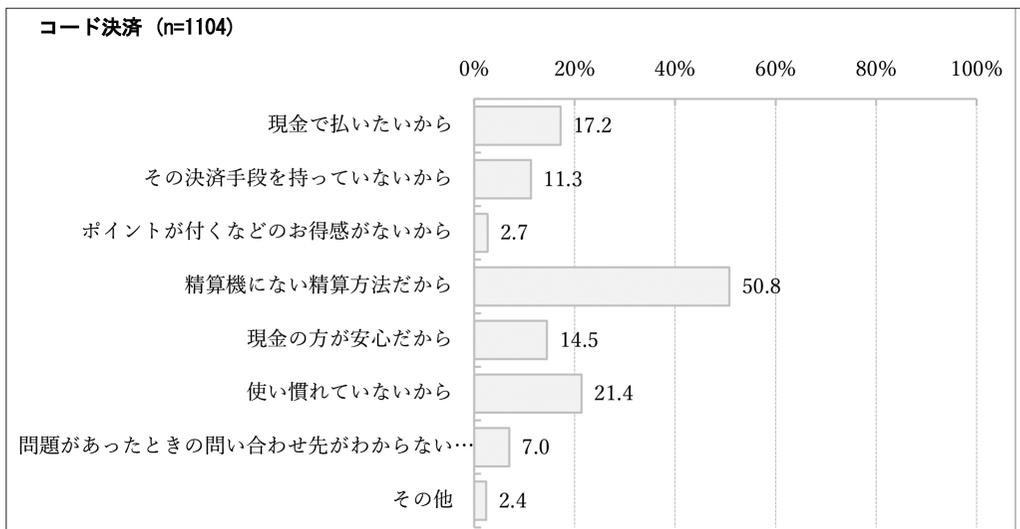
<電子マネー>

・クレジットカード決済同様、46.1%で断トツの「精算機にない精算方法だから」を除くと、「使い慣れていないから」21.8%、「現金で払いたいから」16.0%、「現金の方が安心だから」14.7%と続き、やはり現金主義の強さがうかがえます。



<コード決済>

- ・クレジットカード決済同様、50.8%で断トツの「精算機にない精算方法だから」を除くと、「使い慣れていないから」21.4%、「現金で払いたいから」17.2%、「現金の方が安心だから」14.5%と続き、やはり現金主義の強さがうかがえます。



<3つの決済方法を比較して>

- ・使わない理由については決済方法間で大きな違いは見られませんが、いずれも「精算機にない精算方法だから」という回答が50%前後と非常に高くなっています。裏を返せば「精算機があれば使う」ということとなりますので、キャッシュレス決済を導入することを検討しても良いのかもしれません。また、いずれも「使い慣れていないから」が20%前後となっています。慣れてくれるのを待つ、という考え方もあると思いますが、精算方法をわかりやすく明示するなどの工夫も必要と思われるます。
- ・使わない理由で「その他」を選んだ方の割合は、クレジットカードの場合が4.8%と他の2つに比べて高い(電子マネー：2.5%、コード決済：2.4%)ですが、多かった回答として「カードを出すのが面倒だから」「少額だから」各8件、「情報漏洩やスキミングが心配」5件などが挙げられます。なお、電子マネーでは「チャージが面倒・忘れる」3件、コード決済では「アプリを開くのにか時間が掛かる」7件、が主な理由として挙げられています。
- ・次号では本編に続く調査結果をご紹介します。